

サステナビリティ実現への取り組み

サステナビリティに対する考え方と推進体制

セコムでは、「社業を通じ、社会に貢献する」という企業理念のもと、「企業と社会が共に持続的に発展することが重要である」という考え方を根底に据えて、創業以来、事業を通じたサステナブルな社会の実現に向けて取り組んでいます。社会環境が大きく変化し、事件・事故、サイバー犯罪、病気・老化、自然災害などの問題が深刻化する現在、セコムでは暮らしや社会に安心を提供する社会インフラである「あんしんプラットフォーム」構想の実現をグループ一体となって進めています。

セコムの企業価値向上の源泉は、サービス提供を通じてお客様に期待以上の満足をご提供して感動を与える“社員（人財）”です。外部環境の変化が激しくなる中、変化適応力や価値創造力に優れ、社会貢献意欲の高い人財を確保・育成することが重要です。そして、企業理念と行動規範がセコムグループの全社員に浸透し、自由闊達な企業風土の中で、生き生きと働く多様な人財が最大の資産となっています。また、社会からの信頼を高め、競争力を存分に発揮するためには、コーポレート・ガバナンスを厳格に実践していくことが欠かせません。

国連グローバルコンパクトへ署名

セコムは、国連グローバルコンパクトが掲げる「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」に関する10原則を支持し、2018年5月に署名しました。



ESG インデックスへの組み入れ

セコムにおけるESG課題への継続的な取り組みと情報開示の拡充は、グローバルなESG評価機関からも高く評価されています。セコムは、GPIF（年金積立金独立行政法人）が日本

さらに、セコムがめざす「安全・安心」で「快適・便利」な暮らしの基盤が地球環境の保全であるという認識のもとに、あらゆる事業活動において地球環境保全に配慮した行動をとっています。

このように、セコムの日々の事業活動は、サステナブルな成長を可能にするとともに、自然とESG課題の解決への取り組みがなされる構造となっています。事業活動の拡大を通じた企業価値の向上が、ESG課題への取り組み向上に直結しており、さらにはSDGs（持続可能な開発目標）にも寄与していると考えています。

セコムは、さまざまなステークホルダーの皆様とのつながり・対話を大切にして、サステナビリティの推進に取り組んでいます。2019年10月、セコムグループのサステナビリティへの取り組みをより強化するために「サステナビリティ推進室」を発足させました。社内の関連部署から知見を集め、情報を共有する横断的な組織運営を図りながら、ESG課題への取り組みと情報開示の拡充を図っています。

企業へのESG投資に採用する4つのESG投資指数*をはじめ、以下のESGインデックスの構成銘柄に選定されています。

*4つの指数・・・「FTSE Blossom Japan Index」「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」および「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」のこと



2020 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



THE INCLUSION OF SECOM CO., LTD., IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF SECOM CO., LTD., BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.